

(2) 日常生活動作における介助の必要度について該当する 欄に 印を付してください。

介助なしに生活動作を行うことが可能
時間はかかるが、基本的に介助なしに生活動作を行うことが可能
全面的に介助を要する
一部介助を要する
【どの程度の介助を要するかについて具体的に記載してください。】

(3) その他、単独で渡日することが困難な状況について

【視力・聴力等の身体状況や精神の状況から見て申請者が単独で渡日することが困難な場合、その状況について具体的に記載してください。】

2 通訳について該当する 欄に 印を付してください。

必要である
不要である